「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業［ 指導者派遣型 ］

大学名 東海大学

実施計画名	**ニーズ調査からマッチングさせるマーケットイン型のプラットフォームとしての東海大学を目指して ～柔道からマイナースポーツ指導者確保への応用方略～**
事業概要	東海大学は近隣4行政（神奈川県・平塚市・秦野市・伊勢原市）及び近隣の学校部活動やクラブへのニーズ調査を行ったうえで、指導者派遣を行う『効率的な指導者マッチングシステム』を構築・実装することを目的とする。初年度は、本学の強みのスポーツ資源を活かせる「柔道」において、この仕組みの実践と検証を行う。特に、現場へのニーズにどの程度対応ができるかについても評価する。 本プラットフォームは、2年目以降、他競技・他地域・他者が活用して実装することを目指した『持続可能な指導者確保モデル』の確立を目指す。また、指導者派遣する機構との連携を試み、大学との協創・産官学の取組として存続していく計画である。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー

①募集	②教育	③派遣	④評価
□柔道部 通常の告知 □一般学生 学内掲示板等で 告知	□コンプラ教育 □指導力教育 ↓ 受講状況の確認 テストの実施	□希望に合う 対象者を選定 □訪問挨拶 □複数回の訪問 による指導	□運営者 □指導者 □参加者 を対象としたア ンケート調査

◆自己成長につながる教育課程
関わってきたスポーツに新たな確かな関わり方となる人物を育成。スポーツ価値を向上させる

◆ニーズに合う人材を創出する
求められている条件の中で結果やサービスを提供する指導者はその可否も調査して、評価する

■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
研修受講者(部活者)	本学柔道部学生	15名
研修受講者(部活外者)	本学一般学生	10名
指導対象者	4クラブ（平均10名）	40名
自治体関係者	4行政（神奈川県・平塚市・秦野市伊勢原市）	10名
運営関係者	本学関係者・外部企業	30名

■実証事業の検証・評価方法

①ニーズ調査の結果にどのくらい対応可能か［定性的な分析］
現場に答えがあるという考えの下、その調査に対して、本事業がどの程度対応可能かについて、実施者らの主観で評価する。今後これらへの対応が安定的な事業運営と発展に寄与していくこととなる

②事業の満足度や課題感などの質問紙調査［定量的な分析］
団体の責任者、指導者、参加者など、各ステークホルダーを対象としたアンケート調査を実施する。カリキュラムの改定や他競技への応用などについての一助とする。

■事業の実施体制図

